

□議員名：山田 伸幸

## 1 埴生地区のレーダー基地問題について

論点	埴生地区に防衛省が建設を計画しているレーダー基地について、当初の説明は「宇宙ゴミ」の監視と言っていたが、その後米軍の指揮のもとスパイ衛星監視が主要任務となったのではないのか。住民への説明はどのように聞いているのか。
回答	当該施設は国の事業であり、意見が言える立場にない。中四国整備局から住民説明会の開催について聞いている。

論点	前回の説明会ではスパイ衛星については説明がなかった。報道では府中市で管理をする部署が置かれ、遠隔で管理するとのことだが、情報はつかんでいるのか。レーダー電波の影響については調査しているか。京都府では米軍レーダー電波の影響で救急ヘリの通信に障害が発生しているが、大丈夫か。
回答	レーダー基地の運用や内容については聞いていない。住民の安全や生活面への影響については注視していきたい。

## 2 青果市場の運営正常化について

論点	市場を運営する中央青果(株)の運営正常化を求めてきたし、不正常的な(株)青果販売の存在を指摘し、3月20日の役員会で青果販売については事業停止をすることが決まったはずだが、いまだに営業しているのではないのか。
回答	青果販売は役員会で業務停止することとなった。

論点	あるスーパーの野菜売り場に行ってみたが、「青果販売」のラベルがついた野菜が陳列棚に並べられていた。販売を継続しているのではないのか。
回答	事実関係を調査させて欲しい。

論点	3月の役員会で社長が解任され、新たに市職員が代表取締役役に就任している。公務員の兼業禁止に抵触するのではないのか。
回答	市が50%出資している株式会社であり、利害関係は生じないと考える。

論点	中央青果（株）は市が関与し、許認可にも関わっており、まさに利害関係がある。
回答	市も出資する第三セクターであり、当時の状況は職員が社長に就任せざるを得ず緊急避難的な処置であった。

論点	条例で言えば、市長が就任すれば良かったのではないのか。また、特別職員である副市長の就任という手もある。市場の営業面での改善のために、藤田市長自身がトップセールスをすることも必要ではないのか。
回答	指摘されたことは市全体の課題である。市場の正常化を一刻も早く達成したい。